

Just Be Farmers

ー新長州ファイブー

代表者 甲斐大駆志（工学B4年）
構成員 石飛知憲（工学B3年）益晴人（工学B4年）伊藤紘平（工学B4年）

1. 「新長州ファイブ」について

私たち「新長州ファイブ」は、宇部市則貞にて農業活動を行う大学生団体です。耕作放棄地を耕し、イベントへの参加や収穫体験の開催などを通じて、地域貢献を目指しています。初年度から掲げている農作業を通した「おもしろい」「カッコいい」といった自分たちが楽しめる活動理念に加え、今年度は農業団体という枠組みを飛び出し、「自分がやりたいという意思」を大切に活動を行ってきました。今年度の活動を月ごとに紹介します。

2. 活動内容

2. 1 水車の製作

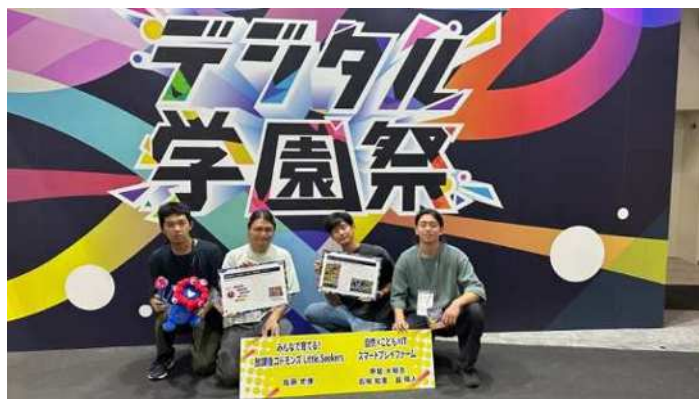
5月には水車の製作を行いました。これこそが工学部、これこそがものづくり、これこそが新長州ファイブと言えるような、「作りたい」という思いから設計、買い出し、製作、設置までを一貫して行いました。設置した水車は地域の方々からも好評の声を多くいただきました。来年度は現在の約2倍の大きさのものを製作し、より多くの方楽しんでいただけるようにしたいと考えています。

2. 2 ジャガイモの収穫体験会

6月にはジャガイモの収穫体験会を実施しました。この収穫体験会は、地域密着型掲示板サービス「ジモティ」を用いて募集を行い、11家族30名以上の方にご参加いただきました。これまでとは異なる募集形態を取ったことで、初めて参加する方のみで募集を埋めることができました。新しい広報手法を見直すきっかけとなりました。また、参加者が増えることでトラブルが発生する可能性があることも学びました。怪我なく安全であることが最優先ではありますが、人間関係のトラブルのリスクについても把握することができたため、今後に向けて参加者向けのルールや規約を整備しました。

2. 3 大阪・関西万博（EXPO 2025）出展

7月には今年度最大の取り組みとして、大阪・関西万博（EXPO 2025）への2日間の出展を行いました。1日目で展示会場における自分たちの立ち位置や役割を把握し、2日目には会場の特性を活かした展示を行うことで、他団体と協力しながら多くの来場者楽しんでいただける展示を実現しました。来場者の声に応え、「ミャクミャクを認識するAI」を一晩で開発し、私たちの強みである工学部生としての技術力と柔軟な対応力をさらに磨く機会となりました。この経験は、8月以降の接客を伴うイベントにも活かされる活動となりました。



EXPO2025 大阪関西万博出展

2. 4 野外音楽フェス「WILD BUNCH FEST. 2025」出店

8 月には、地元の居酒屋コンプリ宇部様と共同で、野外音楽フェス「WILD BUNCH FEST. 2025」に飲食出店を行いました。この出店では、畑で採れた野菜を使用し、エヴァンゲリオンとのコラボメニューを延べ 1,000 食以上販売することができました。音楽ファンに対してエヴァコラボ商品を販売するという課題がある中で、体調不良者を出すことなく、黒字で終えることができた点が大きな成果です。



野外音楽フェス「WILD BUNCH FEST. 2025」出店

2. 5 藍染体験教室開催

9 月には萩市の児童館にて藍染体験を開催しました。安全に配慮した体験を提供するため、前日には長時間にわたり藍の葉の選別を行いました。当日は 7 月・8 月で培った接客技術と各メンバーの得意分野を活かし、大盛況のうちに終えることができました。この藍染体験会は、これまでの経験を活かしたことで、3 年間の活動の中でも最も円滑に運営できたイベントとなりました。他では得られない成長を形にできたことが、団体としての自信に繋がりました。



萩市児童館の藍染体験

2. 6 OSC (Open Source Conference) の主催と発表

11 月には OSC (Open Source Conference) の主催および発表を行いました。あらゆる分野の興味深い内容を発表し合う、他の OSC にはない「緩さ」と「専門性」のバランスを重視したイベントを主催することができました。参加者としても楽しめると同時に、主催者としても満足度の高いイベントとなりました。私たちは「新長州ファイズの失敗とやりたかったこと、なぜか成功したこと」というコンセプトで発表を行い、会場の笑いを誘うことができました。

2. 7 畑の準備

12 月から 2 月にかけては、キャッサバの挿し木、ジャガイモの植え付け、苗作り、土壌消毒に加え、ラジオ出演による活動の広報など、来年度に向けた準備期間となりました。



キャッサバ

2. 8 ものづくり EXPO 出展

3 月にはものづくり EXPO に出展しました。初めての九州でのイベントということもあり緊張もありましたが、大阪・関西万博での経験を活かし、ブースのインパクトとそれに見合う説明を準備することで、今年度の集大成にふさわしい活動とすることができました。

3. まとめ

これらの農業にとらわれない自由な活動は、各種助成金をはじめ、地域の方々からの支援や応援があってこそ実現できたものです。深く感謝申し上げます。今後も新しいことに挑戦し続ける団体でありたいと考えておりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

第1回「山大」運動会

—with—

代表者 山本敦也（経済B2年）
構成員 日高聖一朗（理学B2年） 松崎れい（ひと・まちB1年） 高濱先徳（教育B1年）

1. 背景

本プロジェクトは、代表の山本が1年間の大学生活を終えて、学部生同士のつながりや他学部との交流が少なかったと感じ、体を動かしながら交流したいという思いから「山大」運動会を企画しました。

2. 企画・準備

①Instagramの開設

6月には、Instagramを開設し、イベントの告知動画を流したり、運動会当日の様子を流しました。

②人集め

Instagramでの告知をメインとしました。そのほかにスポーツに興味のある人を紹介してもらったり、サークルにDMをするなどしました。

③プログラム・ルール作成

当日の運動会のプログラムとルール作成をしました。

④物品調達・施設予約

山口大学附属小学校から大縄等の物品をお借りしました。また、開催場所の山口大学第1体育館と競技場の施設予約を行いました。

3. 当日について

開催日：11月8日（土）

場所：山口大学第1体育館 競技場

人数：78名

学部：経済、人文、理、農、ひと・まち、工、教育



当日の集合写真

4. 反省

運動会を開催するにあたり、最も困難だった点は人集めです。当初、私たちは320名を集める予定でしたが、結果はその4分の1となりました。また、3月にも開催予定でしたが、人数が集まらず、しぶしぶ中止することになりました。一番の要因は、学部対抗にしたということです。私たちが学部対抗にこだわったのは、今まで関わってこなかった人たちとスポーツを通じて、交友の幅を広げてほしいという気持ちがあったからです。そのため、サークル対抗の方が断然集まりやすいことはわかっていたのですが、サークル対抗にするといつものメンバーで楽しんで終わるという事態を招くと考えて、個人を対象とした広報に力を入れ

たため、人数が集まらなかったと考えられます。運動会当日の運営については、スムーズに進みました。

5. 謝辞

今回は、このような機会をいただき、ありがとうございました。

1年間を通して、反省をすることの方が多かったのですが、当日来てくれた人たちが楽しいと感じてくれ、やりがいを感じました。

私は、高校時代から「おもしろプロジェクト」を知っており、大学に入ったら挑戦してみたいとあこがれていました。そのため、この1年間は困難なことも多かったのですが、その分成長できました。

相談に乗ってくださった職員の皆様、本当にありがとうございました。

ルート583

－温泉入欲向上委員会－

代表者 鮫島成（経済4年）
構成員 小野颯汰（経済4年） 大森匠悟（経済4年）

1. 背景

本プロジェクトは、山口大学が湯田温泉に近接しているにもかかわらず、学生の間で温泉利用が十分に浸透していないという課題意識から始まりました。

また、代表の鮫島も入学以前は山口県に対して温泉のイメージを持っていませんでしたが、友人と訪れる機会を通じてその魅力を実感するようになりました。この経験から、温泉の魅力に触れるきっかけを提供することで、同様に興味を持つ学生を増やすことができるのではないかと考え、本プロジェクトでは「山口県内の温泉施設の魅力を若年層、特に大学生に広く発信し、認知度および利用機会の向上を図ること」を目的とし、実施しました。

2. 行ったこと

本プロジェクトでは、山口県内の温泉施設を紹介する Instagram アカウントを開設し、施設情報の発信を行いました。投稿内容は、料金、設備（サウナ・露天風呂の有無など）といった基本情報に加え、施設内の様子を視覚的に把握できる写真を中心に構成し、利用者が一目で情報を理解できるよう工夫しました。

この取り組みの背景には、地方の温泉施設では SNS による情報発信が十分に行われていないという課題がありました。従来はウェブサイトを通じて情報を得る必要がありましたが、学生にとってそのハードルは高く、また施設の雰囲気を具体的にイメージしづらいという問題があったため、若年層の利用率が高い Instagram を活用することで、視覚的かつ直感的に情報を届け、温泉施設への関心喚起につなげることを狙いました。



清水湯さんでの撮影の様子

3. 動画作成について

動画コンテンツの制作にも取り組み、主に湯田温泉駅周辺の足湯や、あいお荘の家族風呂、清水湯にて撮影を実施しました。施設の協力を得ながら、実際の利用シーンを想起できるような映像を制作し、発信を行いました。

一方で、撮影許可の取得やメンバー間のスケジュール調整の難しさから、十分な本数の動画を制作するには至らなかった点が大きな課題となりました。

・Instagram アカウント：https://www.instagram.com/onsen_yamaguchi?igsh=bXJhc2NqYzY5eXJl&utm_source=qr

4. 反省

本プロジェクトでは、撮影許可の取得が円滑に進まなかったことや、活動期間中に十分な稼働ができない時期があったことが反省点だと考えます。また、計画段階でのスケジュール設計や役割分担の明確化にも改善の余地があったと認識しております。

一方で、本活動を通じて地域の方々との交流が生まれ、温泉に関する情報交換を行う中で、地域の温かさや地方ならではの魅力を実感することができました。これらの経験は、単なる情報発信にとどまらない価値ある学びとなりました。

今後は、事前の調整や許可取得のプロセスをより丁寧に行い、継続的かつ計画的な情報発信体制を構築していく必要があると考えています。



「Yamaguchecers」に出展し、地域の方々にプロジェクトの概要を説明している様子



完成した「大学生のための温泉ガイド」(表)

5. 謝辞

本プロジェクトの実施にあたり、ご指導・ご助言をいただいた石井コーディネーターをはじめ、ご協力いただいた温泉施設の皆様、ならびに活動を応援してくださった地域の方々に心より感謝申し上げます。

本活動は反省点も多く残る結果となりましたが、多くの方々の支援のもとで実施できたことに深く御礼申し上げますとともに、本経験を今後の活動に活かしていきたいと思いをします。

山口大学野良猫0プロジェクト

ー山大にゃんこ大作戦 フェーズ2ー

代表者	本多紗弥華（共獣B3年）		
構成員	清原鈴音（共獣B3年）	古田瑞葵（共獣B2年）	前原光主穂（共獣B6年）
	野尻祐衣（共獣B2年）	宮崎優衣（人文B3年）	
	石田千穂（共獣B6年）	西本美晴（共獣B6年）	
	有働綺芽（人文B2年）	岩崎璃美（国際B2年）	
	前木香花（人文B2年）	上川愛優美（理学B2年）	
	今川日凱（人文B1年）	板垣潮（経済B2年）	
	久保田莉央（共獣B1年）	中田香葉（経済B2年）	
	吉永陽水（人文B3年）	平井愛彩（人文B2年）	
	奥村春花（共獣1年）	加藤泉水（共獣B2年）	
	高木藍（医学B1年）	山村結子（農学B1年）	
	藤井梨緒（経済B3年）	徳永菜月（農学B2年）	
	五十嵐希望（経済B2年）	杉山音和（国際B2年）	
	富山愛琉（人文B1年）	楠戸水稀（人文B1年）	
	山本茉央（農学B2年）	染岡玲太（国際B1年）	
	和泉川日菜（農学B3年）	難波ゆきの（人文B2年）	
	大橋凜（農学B1年）	松尾晃汰（理学B1年）	
	猪俣芳文（理学B1年）	國枝拓（経済B2年）	
	中村隆太郎（医学B1年）	中上空（経済B1年）	
	田中寧穂（共獣B1年）	佐藤彩音（農学B1年）	
	千同花歩（人文B1年）	佐野心咲（理学B3年）	
	黒田珠莉愛（経済B1年）	他7名	

1. プロジェクト概要

山口大学吉田キャンパス内に生息する猫について、山大にゃんこ大作戦が主体となって、猫に関わりを持つ関係者をはじめみんなで考えていけるような環境をつくり、猫の適切な管理体制の確立を目指す。これにより、吉田キャンパス内で見られる猫に関するトラブルを解消するとともに、むやみに新たな野良猫を住み着かせることなく、最終的な目標である「野良猫ゼロ」に向けた取り組みを行っていく。

本キャンパスでは昔から野良猫が可愛がる人がいたこともあり、キャンパス内の様々な場所でエサやりが行われてきた。しかしエサやりが過剰になるにつれ住み着く野良猫は増え続け、さらに繁殖のコントロールを行わないために、次々と子猫が生まれ数が急増していき、一時期には60頭以上にもなった。そのような状況によって、糞尿被害など訴える声も増えてきたほか、望まれない死を迎える猫も後を絶たず、人にとっても猫にとっても悪循環となっていた。

おもしろプロジェクト'18を機に山大にゃんこ大作戦が発足し、猫やエサやりの状況調査から始まり、TNRや譲渡活動などに尽力してきた。現在キャンパス内には25頭（プロジェクト開始当時）の猫が5か所ほどのコロニーを形成して生息しており、全頭TNR（不妊処置）が完了している。頭数は減少傾向に転じたものの、まだまだ多くの猫がおり、排泄物の掃除が不十分なことで深刻な糞尿被害に困っている人がいる。また、過剰・不衛生なエサやりも不特定多数続いており、環境や猫にとっても不適切な行為であるだけでなく、新たな野良猫が次々に住み着く可能性が高い。よって、排泄物の処理やエサやりの管理などを含め、猫の管理についてより良い方法を見つけていく必要がある。

こういった野良猫の問題は地域の環境問題として、関係者をはじめ多くの人で取り組んでいくことが友好的かつ効果的な解決に必要である。しかし、猫についての管理どころがないため、各関係者が話し合う場がなく猫へ

の対応に基準もない。結果、エサやりをしないよう掲示をする側とそれでもエサやりを続ける側とで、対立した行動をとっている状況が続いている。そこで、頭数のコントロールを行ってきた山大にゃんこ大作戦が、自分たちでも実際に給餌と掃除の管理に取り組みながら、エサやりをしている人と施設管理者など、猫についてコンフリクトが起きている両者の間をとりもち、みんなで一緒に猫の管理について考え取り組んでいく環境を作ることを目指す。

本プロジェクトでは、当団体の日々の活動として給餌と掃除をするエリアを1つに統合し、より管理がしやすい環境、大学関係者や大学の周辺地域の方々への野良猫トラブルが比較的起こりにくいと考えられる場所へエリアを移動させた。また、前年度のプロジェクトから引き続き、掲示物やポスター等で、むやみな餌やりをしないように呼びかけ続けてきた。それに加えて、学内外様々な方が参加されるイベントで野良猫について知ってもらうための広報、啓発活動を行った。学内においても、交流会を開催し、キャンパス内の猫と関わりのある方や当団体の活動にお力添えいただいている大学関係者の方々をお招きし、学内猫に関する話し合いを継続して行ってきた。

2. 活動内容

2. 1 管理エリアの統合

前年度のプロジェクトでは、1つ目のエリア（ふようロード）と2つ目のエリア（体育館裏/音楽棟エリアで給餌活動と掃除を行ってきたが、今年度は、ふようロードに生息していた猫の数の減少やふようロード付近の畑に猫が出入りすること、大学周辺の地域住民の方々への猫トラブルが発生すること、音楽棟での猫トラブルのさらなる発生の可能性などを考慮して、2つのエリア統合と新たなエリア（教育学部前庭園）への移動を決定した。このために私たちは、前年度から話し合いなどを行っており、体育館裏エリアで猫に餌やりをこれまで行っていた「えさやりさん」と話し合いをしたり、関係学部で活動の説明や相談などを行ってきた経緯がある。これらの活動の甲斐もあり、日々の活動において、給餌場所を徐々に新エリアへと近づけていくことを行い、それと並行して、異なるエリアに生息していた猫どうしのトラブルが発生しないか、様子を伺い続け、最終的に、管理エリアの統合とエリア移動に成功した。

2. 2 新たにキャンパス内に現れた「迷い猫」に関する情報収集

前年度、国際交流会館～経済学部棟やふようロードに現れた数匹の迷い猫の目撃情報が今年度も当団体に寄せられ、その情報から猫を追い、発見した際には、様子を見て、大学内に住み着いているのかどうかについて、時間をかけて調査した。また、迷い猫が侵入してきたと考えられる国際交流会館入口付近の定期的な調査を行い、迷い猫に餌をあげないことを呼びかけた。その後、迷い猫に関する目撃情報はなく、私たちの調査でも迷い猫の姿を見かけることがなくなったため、迷い猫が新たにキャンパス内に住み着くことはなかったという結論に至った。しかしながら、このような「迷い猫案件」は時間が経つと何度でも発生する可能性があるため、引き続き調査を行っていく必要がある。

2. 3 子どもたちに野良猫の関わり方を知ってもらう「ヤマミィ学級」

今年度も、山口大学学童保育「ヤマミィ学級」に参加させていただいた。動物クイズで、猫以外の動物も含んだクイズを行いつつ、野良猫やその関わり方に関するクイズを織り交ぜることで、子供たちに楽しんでもらいながら、野良猫について知ってもらうができた。また、大学内に生息している猫の写真を用いて、お絵かきや缶バッジ作りを行うことで、子供たちに野良猫に対する関心を持ってもらいつつ、野良猫との関わり方について、自分で考えてもらう機会をつくるができた。最終的には子供たちから「野良猫を見かけても無理に近づかない」「遠くから見守る」などといった自分なりに考えた、野良猫との関わり方を聞くができた。



ヤマミィ学級の様子

2. 4 他大学の学生サークルとの交流

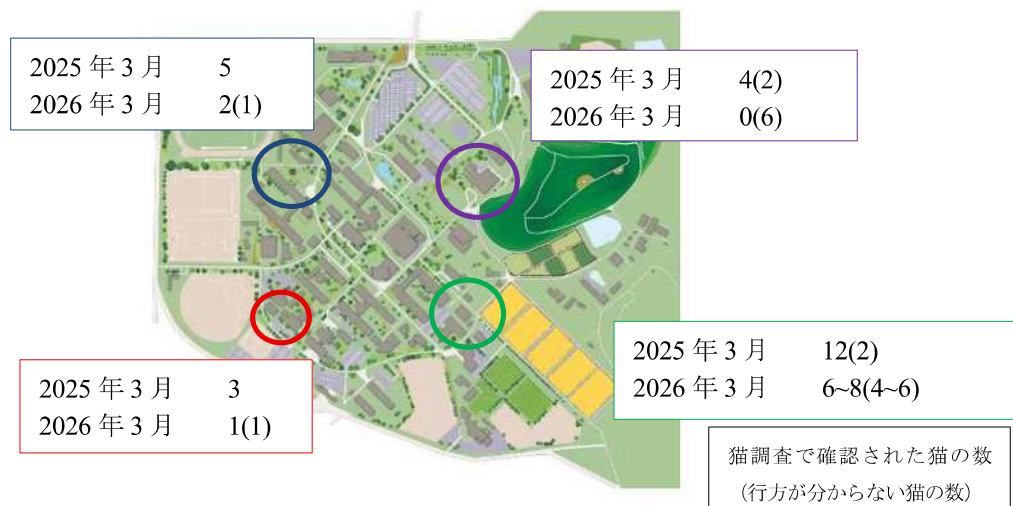
前年度も交流があった、ある大学で猫についての活動を行っている学生サークルの方々と、お互いの活動の成果や TNR 活動についての意見交換を行った。その団体では、外部の保護猫団体と協力して、譲渡活動を熱心に行われており、それに関するノウハウを享受することができ、とてもよい機会となった。このような他団体との交流を行うことが、当団体の新たな活動のヒントになると思われるため、今後も当団体と同じような猫の活動をしている団体と交流を深めていきたい。

2. 5 キャンパス内の猫について話し合う「交流会」を開催

前項でも触れたが、キャンパス内に生息している猫と関わりがある方と、当団体にお力添えいただいている方をお招きして、山大内の猫についての話し合いの会を開いた。この交流会は、前年度から引き続き行っていることであり、他エリアでの餌やりが行われている状況や猫の状況など、様々な情報を交換することができ、今年度もそれらの情報が活動の支えとなったため、この交流会は来年度以降も定期的で開催していきたい。また、後述するが、交流会をより多くの方々に参加していただける会にしたいと考えている。

3. 本プロジェクトで達成できたこと

本プロジェクトの達成度の指標として、猫調査の結果である学内に生息している猫の分布と野良猫数の総数を用いて表す。本プロジェクト開始前（2025年3月末）と本プロジェクト終了後（2026年3月）での野良猫数の比較と野良猫のエリアごとの生息数の分布を示すと、次の図のようになっている。



野良猫のエリアごとの生息数分布

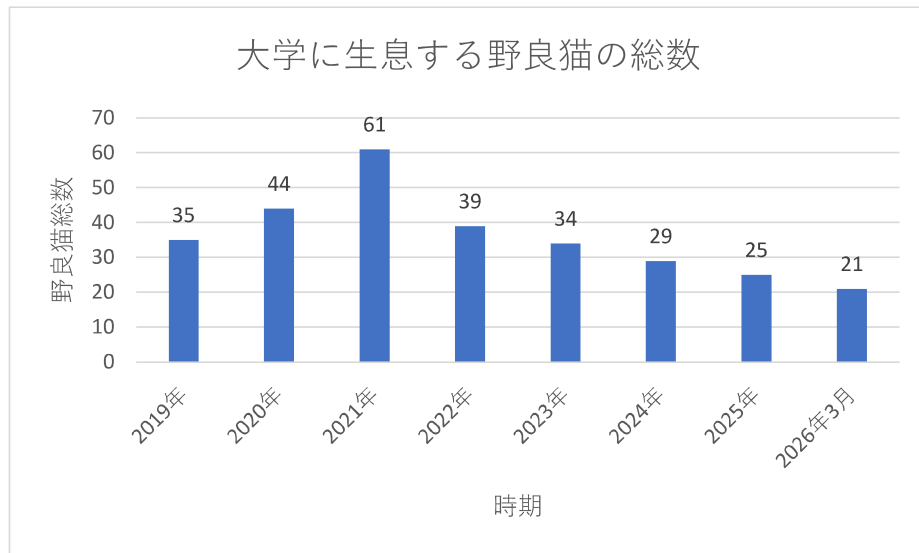


表1 大学に生息する野良猫の総数

猫の総数と生息数分布をみると、本プロジェクトの前後ではそれぞれのエリアで迷い猫による猫の数の増加は見られず、猫の数は減少していることが分かる。日々の活動を続けることでこれからも徐々に生息数を減らすことができる可能性がある。今後も調査を続けることで、猫の生息数の増加を防ぐためにできることや活動の成果がでているかを確かめていくことも重要である。

4. 今後の展望

これまでの活動内容のところで書いてあることに加えて、来年度からは活動の幅を広げていきたいと考えている。

本プロジェクトで行った猫調査は年間で3度ほどとなり、その結果では、学内の野良猫の数は減少していることがみられたが、教育学部前や経済学部裏エリア以外のエリアでの猫調査は十分に行えていない状況となっており、新たな迷い猫の情報や生息している猫に関する情報があまり入ってこなかった。このため、私たちは、学内全体の野良猫数のより詳細な把握と他の生息エリアが存在しているかどうかを知るために、来年度からは①月に1度程度で年間12回ほどの猫調査②理学部エリアと中高温エリアの野良猫に餌をあげている「えさやりさん」と交流を深める機会を得る③「誰でも参加できる交流会」の開催を行うことで現時点よりもさらに野良猫の情報をより得ることができ、さらなる活動の発展につなげ、新たな活動のフェーズに移行することができるのではないかと考えられる。

これらのことを本プロジェクトの一環として行うことができなかった原因として、当団体の人手不足が原因としてあり、これを解決することが、来年度以降の活動の発展に必要な不可欠であると私たちは考えている。この人手不足を解決するための方法は検討中だが、来年度以降も広報活動を通して活動の目的や意義を伝えていくことができればと考えている。

5. 謝辞

本プロジェクトやそれに関わる当団体の活動にご協力いただきました方々のおかげで、様々なイベントの機会が得られ、広報活動を行うことができました。また、交流会を開催することで、私たちの活動の現時点での課題や、大学内に生息する野良猫に関する情報提供を受けることができ、活動の支えとなりました。感謝申し上げます。この活動は今後も継続して、より多くの方々と野良猫に関するお話をし、大学に出入りする人と猫の橋渡しとして、大学内に生息する猫についての対話ができる環境の整備に力を入れていきたいと考えておりますので、今後もお力添えいただけますと幸いです。

里山スマートチャレンジ

～ひこぼしプロジェクト～

収支報告書

(単位：円)

配分額		250,000			
区分	実施経費内訳	数量	単価	金額	備考
物品費等	プリペイド 固定IPアドレスSIM 容量タイプ 10GB 最大2ヵ月	1	7,920	7,920	
	【LTE対応 SIMフリーUSB Dongle】 富士ソフト FSM04UJ-B02 +	1	18,900	18,900	
	SanDisk microSDHC ULTRA 16GB	1	1,398	1,398	
	予備電池18650	2	750	1500	
	GTIWUNG 6個入り 18650 電池ボックス3.7V	1	999	999	
	Seeed Studio XIAO ESP32 S3 Sense	2	2,968	5,936	
	タカチ電機工業 SPCP型防水・防塵ポリカーボネート ボックス	1	2,970	2,970	
	ウォールボックス	1	2,761	2,761	
合計				42,384	

プロジェクト R

～山口大学ロボット研究部～

収支報告書

(単位：円)

配分額		350,000			
区分	実施経費内訳	数量	単価	金額	備考
物品費等	丸釘 45mm 90本入り	1	461	461	
	ホワイトボードマーカー中字 3本 黒	1	402	402	
	ビニルテープ No. 21 黒 5巻パック 19mm×10m	1	428	428	
	ビニルテープ No. 21 青 5巻パック 19mm×10m	1	428	428	
	キムワイプ 1箱 (200枚入)	1	429	429	
	耐水ペーパー (粒度240)	1	185	185	
	耐水ペーパー (粒度400)	1	185	185	
	耐水ペーパー (粒度800)	1	184	184	
	マルチチャージャー X1 ACプラスIV 44354	1	10,700	10,700	
	エクスパワー Rスペック XPR4200-RD-B Li-Po 7.4V 4200mAh ディー	1	18,400	18,400	
	Li-Po Safety Bag リポバッテリー用収納ケース	1	2,200	2,200	
	10ペアAmass XT-60 XT60Hプラグオスとメスコネクタ	1	1,830	1,830	
	シースハウジング付き				
	塗装コンパネ 1800mm×900mm×12mm	1	6,600	6,600	
	垂木 45mm×45mm×2M	1	3,696	3,696	
	SK 日本製 超硬チップ付ペンシルケガキ針 ノック式	1	1,200	1,200	
	ジップロック フリーザーバッグ L ×60枚	1	1,230	1,230	
	ホーザン (HOZAN) フラックス鉛フリー対応 2個セット	1	850	850	
	フラックスリムーバー原液タイプ 容量360g	1	1,890	1,890	
	養生テープ50mm×25m巻 半透明 白	1	319	319	
	高蓄熱デジタル温調はんだこて	1	6,644	6,644	
	はんだこて台	1	3,146	3,146	
	模型工作用 鉛入りはんだ Φ1.2mm	1	1,518	1,518	
	はんだ吸取線	1	2,904	2,904	
	アルミ板400mm×600mm×3mm	1	8,250	8,250	
	アルミ板400mm×400mm×6mm	1	15,444	15,444	
	UL1015 AWG14 耐熱ビニル絶縁電線 10m 赤	1	3,036	3,036	
	UL1015 AWG14 耐熱ビニル絶縁電線 10m 黒	1	3,454	3,454	
	HブリッジPWM駆動 モータードライブモジュール	1	5,236	5,236	
	Arduino用Mega2560スタータキット	1	15,818	15,818	
	おもちゃの車のタイヤ	1	5,680	5,680	
	オムニホイール・メカナムホイール用6mmハブ	1	7,880	7,880	
	DCモーター	1	73,902	73,902	
	(+)皿頭小ねじ(鉄/ユニクローム)	1	670	670	
	(+)ナベ頭小ねじ(鉄/ユニクローム)	1	758	758	

(+)皿頭小ねじ(鉄/ユニクローム)	1	483	483
100mmアルミメカナムホイール4個セット	1	15,000	15,000
六角スタンドオフピラースペーサーナット 真ちゅう			
M3 x 25 mm メスねじ	1	3,500	3,500
アクリル板(コモガラス) 厚さ3mm (400×400)	1	3,516	3,516
スローブローヒューズAタイプ用ホルダー電線付			
5.0sq	1	3,516	3,516
銅線用 裸圧着端子 (R形)丸形 1箱(100個)	1	1,318	1,318
ねじ端子台(組式) 50A T30シリーズ	1	3,515	3,515
PT902 3037(SBFC-AS)スローブローヒューズ 30A 5			
個入	1	1,700	1,700
富士電機 非常停止用押しボタンスイッチ 赤	1	3,562	3,562
LEGO互換60mmアルミメカナムホイール左 (14144L)	1	8,096	8,096
LEGO互換60mmアルミメカナムホイール右 (14144R)	1	8,096	8,096
60mmメカナムホイール用6mmハブ (18021)	1	4,554	4,554
モバイルバッテリー ブラック	1	11,940	11,940
UGREEN USB Type C 変換アダプター2個	1	880	880
エルパ(ELPA) スズメッキ線 銅線 5m φ0.4mm			
HK-SM04H	1	225	225
協和ハーモネット UL1007 AWG24 耐熱ビニル絶縁電			
線 リール巻 100m 黒	1	3,146	3,146
熱収縮チューブ 直径5mm 10M	1	935	935
熱収縮チューブ 直径3.5mm 10M	1	847	847
平凸レンズ	1	2,441	2,441
スティックのり 消えいろPiT Gサイズ	1	715	715
3D PRINTING PEN PA 3Dプリンター用 接着促進剤	1	5,000	5,000
水溶性PVA 3DプリンターフィラメントPVA	1	7,788	7,788
キムワイプ S-200	1	1,430	1,430
シリコングリース プラスチック潤滑用 80g	1	2,496	2,496
3Dプリンター用ポリカーボネート製フィラメント	1	13,734	13,734
3Dプリンター用 炭素繊維強化ナイロンフィラメント	1	16,023	16,023
PolyMax PLA White	1	13,688	13,688
PolyLite LW-PLA Black	1	4,922	4,922
ジップロック フリーザーバッグ S80枚入	1	970	970
合計			349,993

ヤマグチみらい部活プロジェクト

～安心してスポーツできる環境を山口に～

～SIGMA～

収支報告書

(単位：円)

配分額		250,000			
区分	実施経費内訳	数量	単価	金額	備考
物品費等	ケンコーボールM号(M) 1ダース	5	6,000	30,000	
	ミズノ MIZUNO 軟式用 キャッチャーヘルメット 捕手用 つば付き J. S. B. マーク入り	1	8,800	8,800	
	軟式用ビヨンドマックスレガシーメタル トップ(金属製/84cm/平均750g)	1	55,000	55,000	
	軟式用ビヨンドマックスレガシーノック	1	34,650	34,650	
	軟式野球 公認球 M球1ダース	3	6,322	18,966	
	M球 練習用ボール	10	4,268	42,680	
	M球 練習用ボール	10	4,268	42,680	
	野球・ソフトボール用ボールカゴ	4	1,980	7,920	
	ベースボールバットキャリー	1	4,290	4,290	
合計				244,986	

驚きと感動が詰まった、新しい“医食バーガー”プロジェクト

～HEART BURGER～

収支報告書

(単位：円)

配分額		250,000			
区分	実施経費内訳	数量	単価	金額	備考
物品費等	4.7オンス スペシャル ドライ カノコ ポロシャツ	1	18,884	18,884	
	名刺 【おもしろプロジェクト使用】	1	8,428	8,428	
	シール・ステッカー・ラベル (送料込み)	1	4,990	4,990	
	のぼり旗	1	9,524	9,524	
	送料 (宅急便)	1	550	550	
	おもしろプロジェクトにおける助言・指導	1	45,375	45,375	
合計				87,751	

Just Be Farmers

～新長州ファイブ～

収支報告書

(単位：円)

配分額		200,000			
区分	実施経費内訳	数量	単価	金額	備考
物品費等	空調作業服 (バートル エアークラフト半袖ブルゾン)	1	16,500	16,500	
	ウィンドコア19V対応ファン・ケーブル・ファンカバー(2枚)セット	1	17,400	17,400	
	ウィンドコア19Vバッテリー・充電器セット	1	32,400	32,400	
	除草剤 サンフーロン液剤 10L×2本セット	1	29,600	29,600	
	農薬散布用マスク TW01SC 黒【水和剤・粉剤用】	1	1,980	1,980	
	農薬マスクTW用交換フィルタ 11086 T2フィルタ	1	2,585	2,585	
	ハウスヒーター 暖太郎 DTR-2 発熱量660Kcal/h	1	10,894	10,894	
	防草シート 1m×100m 農用シート	1	47,070	47,070	
	温室ビニールハウス 6m×3m×2m	1	40,414	40,414	
合計				198,843	

第1回「山大」運動会

～with～

収支報告書

(単位：円)

配分額		30,000			
区分	実施経費内訳	数量	単価	金額	備考
物品費等	ボールネット	2	495	990	
	発砲スチロール板 450mm×450mm 厚さ10mm【5枚】	2	1,307	2,614	
	段ボール160サイズ5枚セット 【58×48×46cm】	1	3,190	3,190	
	編組リードロープ 26.2フィート	2	2,142	4,284	
	スポンジボール 18cm	2	1,402	2,804	
	アームカバー 腕カバー (黒 指穴無し)	10	699	6,990	
	布テープ 50mm×25mm 5巻入り黒	1	2,099	2,099	
	激落ちくんMEGA4枚入り	2	1,100	2,200	
	グリップテープ10本セット (ブルー)	1	989	989	
	グリップテープ10本セット	1	999	999	
合計				27,159	

ルート 583

～温泉入欲向上委員会～

収支報告書

(単位：円)

配分額		30,000			
区分	実施経費内訳	数量	単価	金額	備考
物品費等	湯おけ	1	8,790	8,790	
その他	湯田温泉リーフレット（400部）印刷	1	21,210	21,210	
合計				30,000	



YAMAGUCHI UNIVERSITY

山口大学

山口大学おもしろプロジェクト2025 報告書

発行 令和8年8月
編集 教育・学生支援機構学生支援センター
学生支援部学生支援課
自主活動ルーム

発行者 国立大学法人山口大学
〒753-8511 山口市吉田1677-1
電話 (083) 933-5164